

2026 年 3 月 26 日
ブリティッシュ・アメリカン・タバコ・ジャパン合同会社

BAT ジャパン、新社長就任と設立 25 周年を機に 新体制でオーラルたばこ「VELO」事業を強化

100 万回以上の体験機会創出と販路・フレーバー展開を強化

ブリティッシュ・アメリカン・タバコ・ジャパン合同会社（本社：東京都港区、社長：マウリシオ・ララ、以下「BAT ジャパン」）は 2026 年 3 月 26 日、新社長の就任および設立 25 周年を節目に、日本市場におけるスモークレス製品の拡大に向けた取り組みを加速し、オーラルたばこ「VELO（ペロ）」を今後の重点領域として強化していく方針を発表しました。変化する社会環境と消費者ニーズに応えるマルチカテゴリー戦略を推進し、日本のスモークレス市場の発展に貢献していきます。

BAT グループは、2035 年までに収益の大半をスモークレス事業とする方針を掲げています。BAT ジャパンは既にスモークレス事業の構成比が収益の 50%超^[1]に達する先行市場であり、国内で高まるスモークレス需要を取り込むことで、グループ全体の成長を牽引していきます。

世界と日本で広がるオーラルたばこ需要

オーラルたばこは、歯茎と頬の間に挟んで使用するスモークレス製品です。煙・臭い・灰が出ず、望まない受動喫煙を生じさせない特性を持ちます。デバイスや充電を必要とせず、ハンズフリーで利用できるため、場所や時間を選ばず使用しやすい点が特徴です。また、燃焼を伴わないことから、有害性物質への曝露が非常に低い水準にあると考えられています^[2]。

世界ではオーラルたばこ市場が急拡大しています。たばこ市場の中で最も急成長しているカテゴリー^[3]であり、2025～2030 年の利用者数は複合年間平均 6～15%の成長が見込まれています^[4]。オーラルたばこ発祥の地であるスウェーデンでは、使用率が紙巻たばこ喫煙率の約 3 倍^[4]に達しており、喫煙関連疾患の死亡率は EU 内で最も低い水準にあります^[5]。

日本でもオーラルたばこ市場は着実に拡大しています。使用者数は 2022 年の約 30 万人から 2025 年には約 90 万人へと拡大したと推計されます^[6]。2030 年には、400～500 万人規模に成長する可能性があると考えられています^[6]。

日本で進む喫煙環境の変化や消費者ニーズが VELO の成長を後押し

VELO はグローバルシェア No.1 のオーラルたばこブランド^[7]です。スウェーデン発のブランドとして約 50 市場へと展開を拡大しながら、欧州でカテゴリーシェア首位^[7]、米国では最も成長が速いブランド^[7]として高い存在感を示しています。日本では 2020 年の発売以来、年間販売量がほぼ毎年倍増^[8]しています。全国的な販路と国内最多のフレーバー数を持ち、日本人に合わせてミニサイズのパウチを展開しています。

現在日本国内では、2020 年の健康増進法改正を契機に喫煙環境の減少が進んでいます。職場でも、たばこ休憩やにおいをめぐる喫煙者と非喫煙者の摩擦が高まるなど、社会的・環境的な変化が進んでいます。

また、いつでもどこでも使える「利便性」（Convenience）、周囲にも自分にも「配慮」（Consideration）できる使用特性、手に取りやすい価格による「切り替えやすさ」（Conversion）という 3 つの消費者ニーズ（3C）を背景に、VELO は日本のオーラルたばこカテゴリーの成長を牽引しています。

100 万回以上の体験機会創出と販路・フレーバー展開強化で、VELO 事業を次の成長段階へ

このような市場ポテンシャルを踏まえ、BAT ジャパンは 2026 年、喫煙者が VELO を体験できる機会を 100 万回以上提供します。また、さらなる販路拡大と、日本の嗜好に合わせたフレーバー強化を進めます。

また、キャンペーンコンセプト「その瞬間を REMIX（リミックス）」のもと、日本の音楽・アート・ゲームなど多様な文化と連携し、VELO の新しい楽しみ方を提案する取り組みを順次展開します。2026 年はその第一弾として、4 月末に開催する没入型イベントを皮切りに、喫煙者が日常のさまざまな瞬間で VELO の使用特性や使用シーンを体験できる機会を広げていきます。

BAT ジャパン 社長 マウリシオ・ララ コメント

「25 周年と新体制の発足を受け、当社は次の成長局面に入りました。日本ではスモークレス製品の普及が拡大しており、加熱式たばこ glo™に加えてオーラルたばこ VELO の提供をさらに拡大することで、日本の喫煙者により多様で使いやすい選択肢を提供していきます。」

[1] BAT 2025 年決算ベース。

[2] オーラルたばこカテゴリー群の内、ニコチンパウチを対象とした研究結果に基づく。紙巻たばこ煙中からの低減が推奨されている有害性物質のうち、独立して特定・優先付けされた 9 種類の有害性物質の平均値について、標準的なリファレンス紙巻たばこ（タール約 9mg）から発生する煙との比較に基づいています。これらの製品にリスクや依存性がないことを意味するものではありません。

[3] オーラルたばこカテゴリー群の内、ニコチンパウチを対象とした試算。BAT 社内推計。当社の主要 50 市場を対象としています。法的に定義される「ニューカテゴリー」には、免税製品およびオープンシステム型ベイプ製品のユーザーを含みます。ニューカテゴリー製品のユーザーについては、2030 年時点で 25%が複数製品併用（ポリユース）を行うことを想定しています。

・紙巻たばこを含むポリユース：成人への消費者が、紙巻たばこ製品と、リスク低減の可能性があるたばこ・ニコチン製品*†を併用して使用することを指します。多くの喫煙者にとってこれは移行期間の一部であり、紙巻たばこの消費量を減らしつつ、1 つまたは複数のリスク低減の可能性がある製品*†に置き換えることで、最終的に完全な切り替えを目指す過程を意味します。

・ニューカテゴリー製品におけるポリユース：紙巻たばこを一切使用せず、成人への消費者が、リスク低減の可能性があるたばこまたはニコチン製品カテゴリーを 2 つ以上併用して使用することを指します。

・全体のポリユース：紙巻たばこを含むか否かを問わず、成人への消費者が、たばこおよび／またはニコチン製品を 2 つ以上併用して使用している総数を指します。

※「成人」とは、各国・地域の関連法令により定義される年齢に達した者を指します。ただし、いかなる場合も 18 歳未満の者を含まず、米国においては 21 歳未満の者を含みません。

*紙巻たばこから完全に切り替えた場合を想定し、さまざまな研究結果をもとに総合的に比較・評価しています。これらの製品にリスクや依存性がないことを意味するものではありません。†米国で販売されている製品（Vuse、Velo、Grizzly、Kodiak、Camel Snus など）は FDA（米国食品医薬品局）の規制対象であり、当局の承認なしにリスク低減に関する表示は行いません。

[4] 出典：スウェーデン統計局、対象年齢：16～84 歳または 16 歳以上。スウェーデン公衆衛生庁「年齢・性別・年別によるたばこおよびニコチン使用状況 自己申告割合」（アクセス日：2024 年 11 月 11 日）<https://www.folkhalsomyndigheten.se/the-public-health-agency-of-sweden/living-conditions-and-lifestyle/andtg/tobacco/use-of-tobacco-and-nicotine-products/>

[5] 出典：世界保健機関（WHO）および国際がん研究機関（IARC）、「Cancer Today：2022 年の世界のがん負担を可視化するデータツール」（選択基準：人口 10 万人あたりの年齢調整率 [世界標準]、罹患率、男女計、がん種：口唇および口腔、欧州連合 [27 各国]、年齢範囲：15 歳～85 歳以上）。（アクセス日：2024 年 8 月 8 日）<https://gco.iarc.who.int/today/>

[6] BAT ジャパン調べ。

[7] BAT 調べ。2025 年度第 4 半期以降、販売数量ベース。2025 年度の成長率は、特記がない限り 2024 年度比較に基づきます。販売数量シェアとは、特定ブランド（またはブランドの組み合わせ）の消費者購入数量が、ニコチンパウチ・サブカテゴリー全体の推定購入数量に占める割合を指します。販売数量シェア（企業別）は BAT グループが保有するシェアデータに基づいています。特定市場を明記していない場合、販売数量シェアは当社主要市場に基づきます。主要ニコチンパウチ市場：米国（Circana Non-Syndicated RSD）、スウェーデン（NielsenIQ）、デンマーク（NielsenIQ）、ノルウェー（NielsenIQ）、スイス（IMS）、英国（NielsenIQ）、ポーランド（NielsenIQ）。これら 7 つの市場は、2024 年におけるニコチンパウチ産業全体の収益の約 90% を占めています。

[8] BAT ジャパン調べ。

掲載方法についてお願い

BAT グループでは、たばこ製品のマーケティングを適切に実施するために国際的な自主規準を設定しています。そのため消費者に対するたばこ製品に関するすべてのコミュニケーションには、20 歳未満の方へのコミュニケーションをお控えいただくとともに、「喫煙と健康に関する注意文言」を表示することを関係各位にお願いしております。加熱式たばこ製品やオーラルたばこ製品に関して記事掲載していただく際には、「健康に関する注意文言」が表示されるようご配慮いただきたく存じます。ご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

20 歳未満の者の喫煙は、法律で禁じられています。

加熱式たばこの煙（蒸気）は、周りの人の健康へ悪影響が否定できません。健康増進法で禁じられている場所では喫煙できません。

加熱式たばこの煙（蒸気）は、発がん性物質や、依存性のあるニコチンが含まれるなど、あなたの健康への悪影響が否定できません。

20 歳未満の者の使用は、法律で禁じられています。

妊娠中のかぎたばこの使用は、妊娠高血圧症候群、早産や出生体重の減少の恐れがあります。かぎたばこの使用は、あなたが口腔がん等のがんになる危険性を高めます。ニコチンには依存性があります。

「煙もニオイもない」「煙やニオイが発生せず」「煙やニオイが発生しない」「有害性物質の発生が紙巻たばこと比較して 99%低減」「ミディアム」「甘み」「甘さ」「まろやか」の表現は、健康への悪影響が他製品より小さいことを意味するものではありません。